

SHINGON HORONIC

色は匂へど II

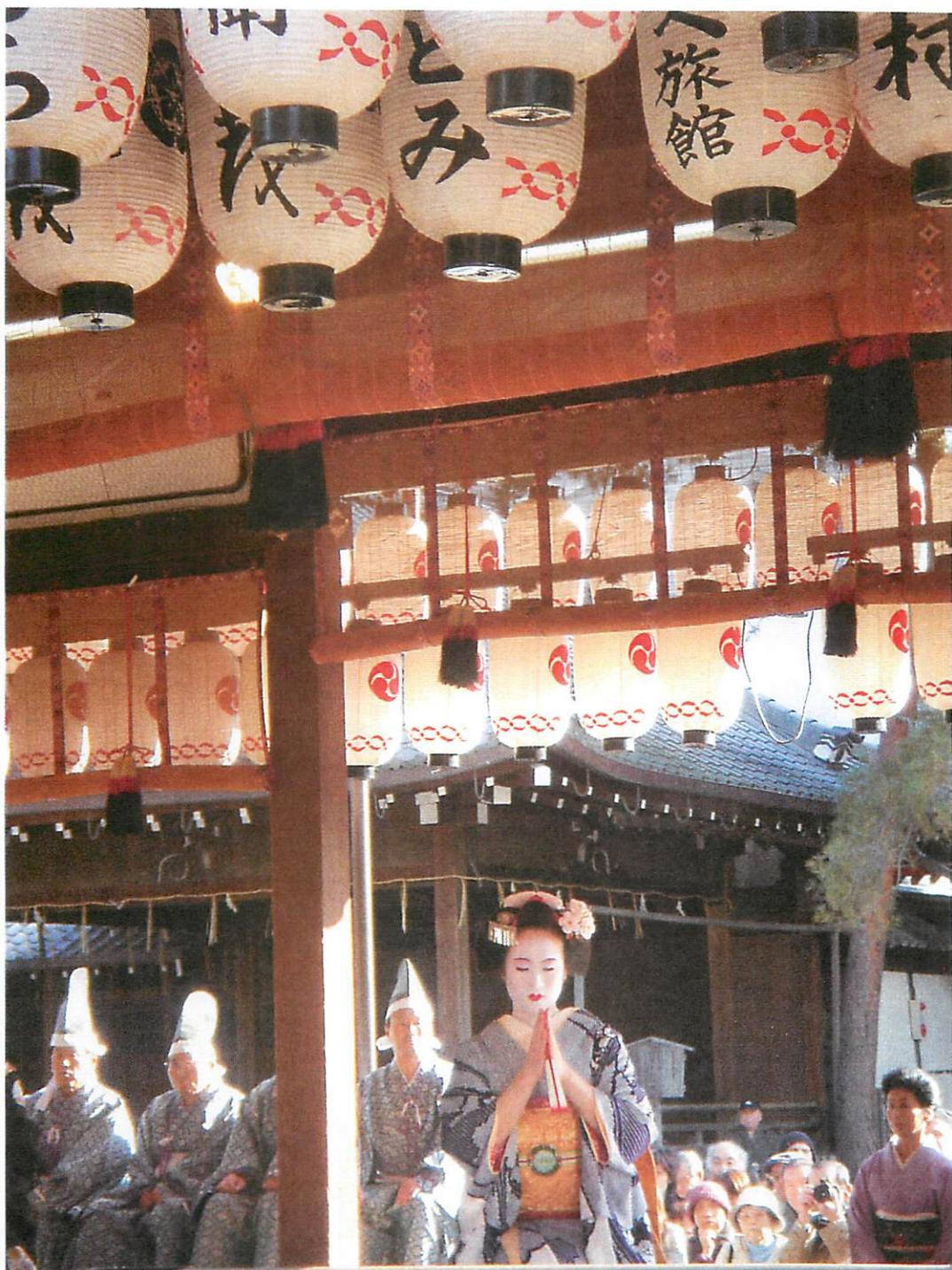
IRO

WA

NIO

E

DO



特集 日本最初の宝舟とやまとことば

平成十九年新春 卷七



心暗きときはあうところことごとく禍なり
眼明らかなれば途に触れて皆宝なり

弘法大師

新たな年を迎へ心あらたに

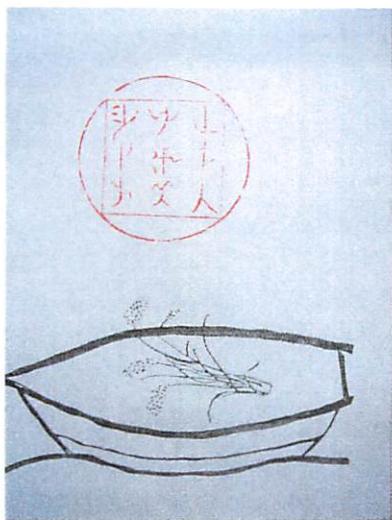
眼明らかに臨みましよう

眼明らかであれば出会うものすべて宝となります
心を塞ぎ暗ければどんな素晴らしい人やものに
出会つても、それを悪しきものとしか見ること
ができず道が閉ざされてしまします

日本最初の宝船と

やまとことば

3



心の絵ことば 9



道しるべ 生かす人

11

お大師さまの言葉

禍をなす者は暗く
福をなす者は明なり

13



情報コーナー

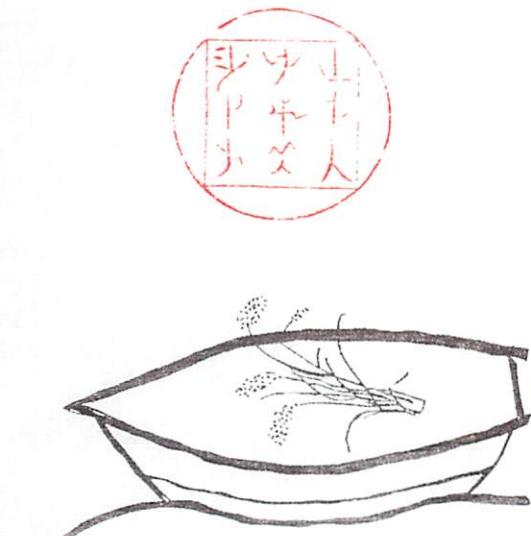


14



日本最初の宝船とやまとことば

吉始知美能加和宝船



上、簡素な宝船の絵
下、現在の五条天神社

お大師さまが開かれた天使神社

京都に五条天神というお宮があります。開創はとても古く平安遷都の頃です。時の天皇がお大師さまに命じて大和の宇陀郡から天神を勧請したそうです。当初は「天使の宮」とか「天使社」と称していましたが後鳥羽天皇の時代に「五条天神宮」と改称されました。義經と弁慶が出会ったのは五条大橋といわれていますが実はここ五条天神でした。かつては広大な社域がありましたが今は街の中にひっそりと佇んでいます。



平安神宮の節分祭は古式ゆかしく行われる。靈力がある桃で作った杖で四方を打ち淨める。

この五条天神では節分の日に日本最初の宝船の絵を分けています。

かつては宮中や親王さらに公家に献上され一般大衆には配布されていませんでしたが、希望が大きく強くなり、大正の頃から部数を限つて配布されるようになりました。

見て分かる通り極めてシンプルな絵です。

五条天神の御祭神の少彦名命が神王の命を受けて、高天原から出雲の国に天降りませしときに乗りたまえる「天の御田地船」の絵です。

「宝船」の絵のイメージは大きな帆船に金銀財宝、珊瑚瑪瑙などの七宝を満載したにぎにぎしい船を思い浮かべます。

しかしこの五条天神宮の宝船は極めて簡素で稻たからが一束だけ積まれている小舟です。

五条天神宮の解説では、「宝」は本来、田たから自つまり田からとれるものという意味でそれこそが宝です。もちろん日本は瑞穂の国ですから稻にまさる宝はないわけです。

また稻は命の根だからイネです。人の露命をつなぐ根源であつて稻にまさる宝はほかになく、稻をつくる農民をオホンタカラということからも分かると書いてあります。

この宝船に厄除け、病除けを祈願すると、年中つつがなく世上の浪を渡り安全を保つことができるありがたい宝船です。

やまとことばとは

やまとことばとは日本の本来のことばです。日本には多くの文化や言語や宗教が入り、日本の原点が歴史の彼方に隠れ、見えにくくなっています。また日本語がどのようにして生まれたかも忘れられつつあります。

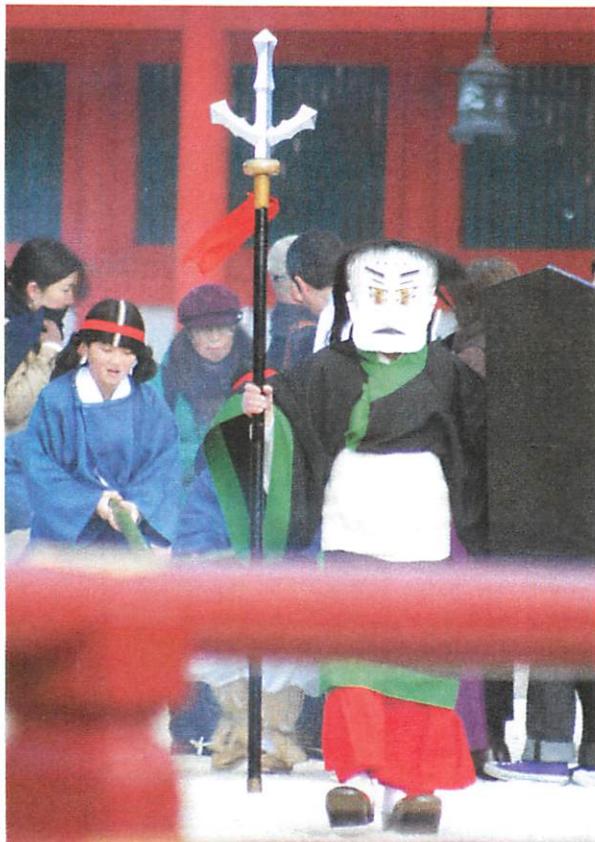
しかしやまとことばを繙くといかに日本人が自然と豊かに共生していたか、そして平和をいかに尊んでいたかが分かります。

明治維新の大きな変革期にさらに日本には怒濤のように西欧文明が流れ込んできました。明治天皇の妃、昭憲皇后はやまとことばの秘伝を京都から携え東京に移られました。

明治神宮のおみくじは「大御心（おおみごころ）」と言われ、いわゆるおみくじとは違います。明治天皇と昭憲皇后の御成・御歌で人の道を指し示す歌です。そのすべてがやまとことばで作られています。

あらし吹く世にも動くな人ごころ
いはほに根ざす松のごとくに

(明治天皇)



平安神宮の節分では午後二時から大儺之儀（だいなのぎ）が行われる。金色の四つの眼を持つ方相氏が八人の童子を従えて盾と矛を打ちならしながら「鬼やろう」と大音声で唱えて魔を払う。

さて日本では古来から多くの祭りがあります。

新興団地でトラブルが多かった時に祭りを始めた
ら、急速にトラブルが減り、住民の交流がスムーズ
になったと言います。

『祭り』と政治マツリ「ゴトはやまとことばでは本
來同じ語源です。植物の松も同じ語源から松という
名前が生まれています。

松の葉は二枚で真中で吊るすとやじろべいのよう
にバランスをとります。

『間』がつり合うこと、マがつり合うことがまつ
であり、祭りであり、まつりごとです。

『間』は文字通り空間ですがその空間には人が住
み部族が住み、その長が治めています。

その『間』が集まると国になりますが、その国同
士が争えば戦いになりますし、国同士が大いに和す
れば和平が保てます。

祭りは間をつり合わせる大切な行事であり、政治
マツリゴトは平和を保つためにおこなわれることに
他なりません。

その祭りごとの基本はタマワリです。玉を正しく
割ること。収穫を平等に分配することです。

マは立体的な空間を示しますが、平面的な広が
りはナといいます。大地をナといいました海原もナで
す。





八坂神社の節分豆まき式。上七軒や祇園の舞子さんが手を合わせ奉納の舞いを舞う。その後装束を着けた年男年女が舞子さんと一緒に福豆を撒く。さらに鬼の餅撒きも。古都京都ではこうした行事を通して邪氣を払い立春大吉を迎える。

ナイは地震ですし、ナギは海の波が無い状態です。大地から採れる野菜を菜（ナ）といい、また海から捕れる魚もやはり魚（ナ）です。

イサナと言えば大魚、鯨のことです。イサナのイは食べるモノという意味です。イサナのサは向くとか向かうという意味があります。イサルということは漁に向かうという事ですし、イソは海と陸の間で常に波が大地にぶつかりまた多くの食べ物を得られる場もあります。イソガシイの語源もこのイソやイサルと同じ由来です。

マナ板も立体的な空間と水平の広がりから様々な料理が生まれるのでマナ板と言われます。

やまとことばは常に自然と一体で一音多義、つまり一つの音に多くの意味が含まれています。

カミは神であり髪であり上であります紙です。カは集団の意味でミは結ぶという意味があります。

カメ、カモ、カマも神に通じます。賀茂神社が京都にあり、カメは水がめであり水面は鏡です。

古事記は日本の成り立ちを示す歴史書という見方が一般的です。

しかしこの古事記は音の生まれが描かれ、登場す



日本の庭園は自然を巧みに映し、海と波そして浮かぶ島を美しく配する。古代の神社は天空の星々を地上に巧みに映していた。伊勢の内宮は北斗七星であり外宮はさそり座を映している。そして五十鈴川は天の川だった。密教が入ると内宮は胎蔵界曼荼羅、外宮は金剛界曼荼羅となる。

る神々それぞれが音を表しています。逆に言えば一音一音に神の名前があるとも言えます。日本古来の五十音図は学問を表すアカタマ音図や宝を生むタカラ音図など様々な五十音図があります。

そして五十を先ほどの磯と同じイソと読みます。さらに五十音を鏡のように合わせ二重性の仕組みを重ねて百音からなる音図を作ることが出来ます。

十音かける十音のマス目は百の目ができます。この百をモモといい邪を払う力があります。平安神宮の節分大儺之儀で桃の杖を打つて邪を払うのはこの百と重ねています。また鈴は邪を払うといいます。その鈴は五十鈴川の鈴です。鈴を二つ結んでフルことで生まれる音は百の音でモモの邪を払う音だからです。

古事記は音の生まれや天空の星座を地に降ろした物語です。科学が進み古事記の研究が進むといつかその秘密が解きあかされ、世界を平和に導く「やまとこのころ」が拡がるような気がします。



『古事記』朗読 中村吉右衛門
解説 河合隼雄
新潮社
名優、中村吉右衛門の朗読で
語られる古事記は絶品。

「じろの絵ことば」『もぐらのむことり』

絵 美月

げました。

むかではおてんとうさまにもぐらのことを話しました。するとおてんとうさまは

「それなら黒雲は一番じゃ。黒雲がるとわしは隠されてしまうからの。」

むかではさつそく黒雲のところに行きわけを話しました。すると黒雲は

「それなら風さんじゃな。わしがどんなにがんばつておてんとうさまをかくしても風さんがぴゅーっと吹くとどばされてしまうんじゃ。」

むかではすぐ風のところに行きわけを話しました。すると風は

「むかでさん、それなら壁どんのところへいきなさい。私がどんなに力強く吹いても壁どんはびくともしませんよ。」

むかではすっかり疲れてしまい靴もすりへつてしましました。

「もぐらさん、靴がすっかりすり減つてしましましたよ。あと十六足靴をくださいな。」





もぐらは喜んで十六足の靴をむかでにあげました。

むかでも今度こそとおもつて壁のところへいきました。そしてわけを話しました。すると壁は

「いやいやむかさん、私がどんなにここでがんばっていても、地下からもぐらさんが掘つたらすぐ倒れてしまいますよ。」

むかではもどつてもぐらに話しました。もぐらはむかでの話を聞くと

「なんだ、もぐらが一番か。靴損をしたな。」
と小さい声でいいました。

それでもぐらをむこにしました。

道しるべ

生かす人

ノーベル平和賞

二〇〇六年のノーベル平和賞にグラミン銀行のムhammad・ユヌス氏が選ばされました。

恥ずかしながらユヌス氏の名前もグラミン銀行の存在も知りませんでした。

ニュースでは

*担保を持たない貧しい人にだけ少額の融資すること。

*すでに世界中に広がっている組織であること。

などと報道されます。

ユヌス氏の自伝を繕くともう少し詳しく分かるので紹介します。

世界で最も貧しい国バングラデシュで生まれ、アメリカで経済学の博士号を取得した経済学者です。

七十四年にバングラデシュは大饥饉に襲われ五万人以上の餓死者を出しました。経済学を教えていたユヌ

ス氏は机上の経済学と実際に世界との乖離に愕然とします。

そして農村に入り貧しい農村の実情を学ぶことを始めます。

氏は素晴らしい竹の椅子を作つてい

る女性に話を聞きます。彼女は竹の材料を買うお金（日本円で約二十円）がないので仲買人からそのお金を借ります。利子がとても高いのでその椅子を売つて手許に残るお金はわずか二円です。村中を調べて回つてみな同じ状況です。村全体で四十二世帯が僅か三千円のお金がなく高利に苦しみ悲惨な生活に喘いでいました。

ユヌス氏はその四十二世帯に二十七ドルを貸すことにしました。

これがグラミン銀行とマイクロクレジットの始まりです。

グラミンとは『村落』という意味です。マイクロは少額と言う意味です。僅かなお金を無担保で貸す村の銀行です。

しかし今やこの組織は世界中で成功して貧困国途上国のみならずアメリカやフランス北欧にまで拡がっています。



「ムhammad・ユヌス自伝」猪熊弘子訳 早川書店

さらに大きな特徴は借り手の九十五%が女性でありその返済率は九十九%になります。女性、とくに母親は真剣に子供達の栄養や将来の生活をより良くしたいという強い欲求があります。バングラデシュでは強い家長制度と圧倒的に男性優位な社会で女性にお金を貸すのは並み大抵ではありません。しかしグラミン銀行は社会の誹謗や中傷を受けながらも着実に実績を積んできました。ユヌス氏の創造で援助ではなく自立できる仕組みが実証でき世界中の貧困が減りつつあります。



いじめが無くなりません。子供は社会の鏡ですから、大人の社会でも会社でもあるいは親族の間でもいじめがあるのでしょう。

テレビ番組の影響力はとても大きいはずです。お笑い番組だけではなく多くの番組でお笑いタレントが笑いを取るのに懸命に努力をしています。笑いが取れなければ仕事になりませんが、目に余る度をこす自虐的なギヤグや罰ゲームが放映されることが少なくありません。公共放送以外は企業スポンサーが必ずついています。スポンサーがなければ番組を作ることも放送することもできません。

世界最小極小の歯車を作る樹研工業は社長の方針で採用面接がありません。先着順です。学歴、国籍、年

「スポンサー企業諸君。自社提供の番組を子供達に自信をもつて見るとを勧められますか？」

またニュース報道が連鎖反応を引き起こすことも明らかです。とくに影響を受けやすい子供や多感な青少年は意識するしないに関わらず影響を受けているはずです。

いじめで子供が自殺する。その報道がさらなるいじめによる自殺の引き金になります。

『子供が育つ魔法の言葉』には子

供達が育つ言葉がたくさんちりばめられています。

その言葉は子供達だけではなく大人達をも生かす言葉です。

会社や地域社会、家族やあらゆる組織にも通用するはずです。人は必ず良くなる可能性があります。

「歳、性別一切関係なく早いもの順です。しかも定年がないので自分が働けなくなるまで勤められます。出張はすべてグリーン車です。樹研工業の松浦元男社長は「五分やそこらの面接では分からぬからね。一年で芽が出る人もいれば十年で芽ができるもいるから。芽が出るのを待つことが大事」と語っています。

学歴、国籍など一切関係ない小さな会社が世界最高の技術力を持つています。

きっと社長は人を生かす魔法の言葉を知っているのだと思います。人を信じ可能性を信じることから明るい社会が生まれます。

お大師さまの言葉

福をなす者は明なく
禍をなす者は暗く

福をなす者は明なり

弘法大師

お大師さまの生き方には一点の曇りもなく明るく、その明るさが人を惹き付けてやみませんでした。

それはお釈迦さまの歩まれた道でもあります。
曇りなき明らかな生き方、何があつても迷うことなく
ぶれることない歩み。そのすがすがしい清涼感が多くの人を禍から福へ、悪から善へ、暗から明へと導いて行きました。

お大師さまの高野山に登ると不思議な明るさを感じます。

私だけの感覚かなと思いました。

しかし友人達を案内すると皆、「明るいお山だね。」と言います。

今にもかお大師さまご自身が持っていた内面の明るさが今でも高野山全体をおおっているような気がします。

お大師さまの周りには多くの人々がいました。

時の嵯峨帝を初めとして皇族や貴族たち。またお大師さまが建築や土木、絵画や書に優れていたので、その技術を学ぼうとする職人や技術者も集まっていました。そして満濃池の修復には、お大師さまの人柄に惹かれて何千何万という老若男女が集まりました。そしてお大師さまとともに難しい土木作業を完成させました。



『ブッダをめぐる人びと』

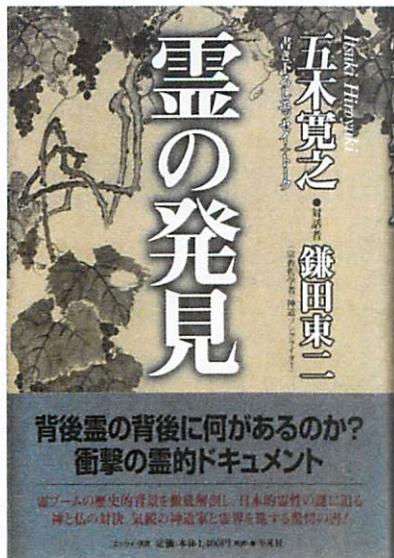
里中満智子著 佼成出版社

読むだけで爽やかな心になれる一冊

お釈迦さまやお大師さまのように一点の曇りなき生き方は難しくても、少し人に親切にする、暖かい気持ちを持つ、そして感謝の気持ちを持つだけで心にともしびがともります。その小さな明かりは禍を転じて福となることができる大きな力を持つています。

すべての
生命は
皆等しく
美しい

生きることの
意味を知った
人びとの物語



背後靈の背後に何があるのか? 衝撃の靈的ドキュメント

靈ブームの歴史的背景を徹底解剖し、日本の靈性の謎に迫る
神と仏の対決、気説と神道家と霊界を搖する驚愕の書!

エッセイ・近藤 本体1,100円 税別・中公社

『靈の発見』

五木寛之 鎌田東二 平凡社

日本は言靈の国です。人が発した言葉にも命が宿り波動となって拡がっていきます。長く使った車を買い替えようといった時から急に故障したという経験は一度ならずあります。道具でも心を込めて使い込むと自分の分身ではないかと思うほど手に馴染みます。

靈について語る時、微妙な距離を感じたりします。また靈の話を聞かされる時、ある種怪しさを感じることも多く率直に語り合うことが難しい話題です。

その難しい話題に、心の巡礼者五木寛之氏がやまとごころの伝導者鎌田東二氏という絶妙な相手を通して語り合う靈の世界。針供養や草木供養をする日本人にとって必読の書。

ゴルファーのスピリット

the spirit of the game

鈴木康之 suzuki yasuyuki



上質ゴルフ人の 紳士道と武士道

上手いゴルファーよりも美しいゴルファー。
誇りあるゴルファーになろう。



ゴルフダイジェスト新書

『ゴルファーのスピリット』

鈴木康之 ゴルフダイジェスト社

「ゴルフは德育、人の徳を育み育てるスポーツ。」明治時代の仏教者大谷光明氏はこう言われてゴルフの正しき普及に努めました。難しいルールの翻訳から、コースの設計（東京ゴルフクラブ）もされ日本アマのチャンピオンでもありました。ゴルフのルールはルールブックで学べますが、マナーを学ぶ機会は少ないと思います。本書は著者自らの豊かなゴルフライフを通じて肌で感じてこられた素敵なことを、洒落たエッセイにちりばめてあります。アマチュアもプロも必読の書ですが、小中学校の教科書に載せたい話もたくさんあります。ぜひ教育図書として日本中の学校や教育機関に備えて欲しい一冊です。『ピーターたちのゴルフマナー』も必読。

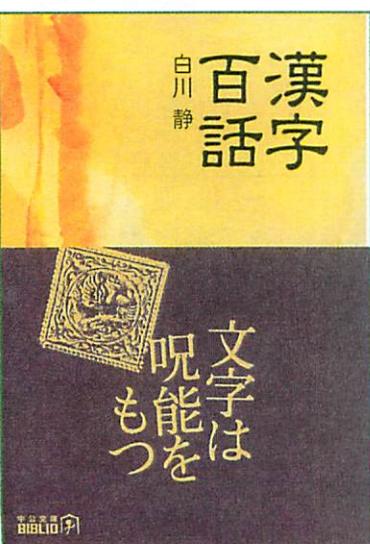
『漢字百話』

白川 静著 中公文庫

「文字は呪能をもつ」と帯に書かれた本書は白川静の世界の書き入門書です。白川氏の研究によって漢字の成り立ちに宗教的な呪術的な要素があることが解明されました。

漢字の原始的な姿を繙きながら、文字の持つ魅力や靈力を解きあかしていきます。白川氏の主な仕事に漢字三部作—漢字の成り立ちを解説した日本唯一の漢字字源辞典『字統』、日本語としての漢字を解説した古語辞典『字訓』、そして漢字の成り立ち意味の展開造語力を解説した漢和辞典『字通』があります。

また万葉集に秘められた呪術的世界を解きあかした『初期万葉集』『後期万葉集』などがあります。





次号 特集 寺子屋真言童子 邦楽を楽しむ

Editor ABE RYUJU Art Director and Photographer/TATSUKI
EDITORIAL OFFICE CHOEN-JI S.H.C Making Mechanic Printing KORINKAKU
〒157-0076 東京都世田谷区岡本 1-20-1 電話 03-3707-1228 ファクシミリ 03-3707-1221

Shingon Horonic Irowanioedo 2